

個人投資家向け説明会

住友商事株式会社

2021年12月

住友商事株式会社（証券コード：8053）



Sumitomo Corporation

| Enriching lives and the world

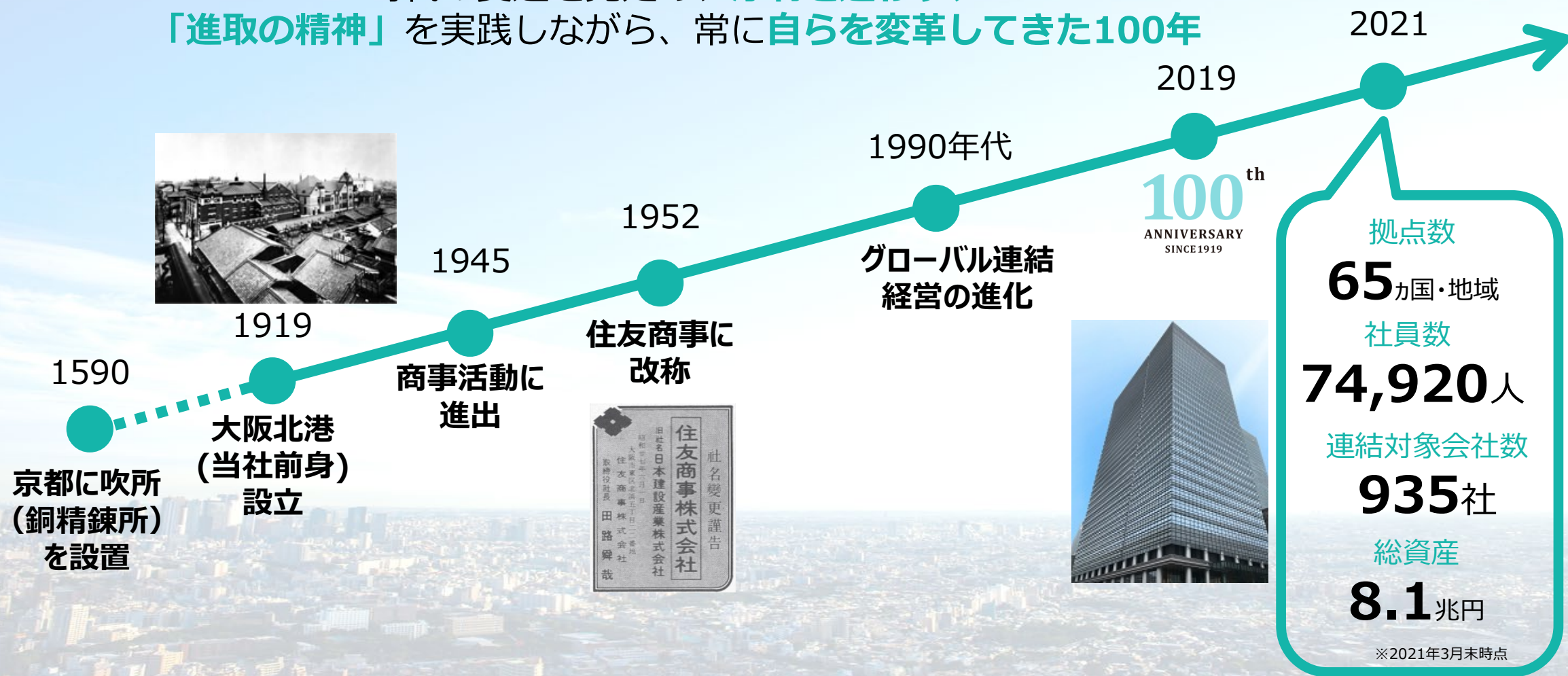
Contents

01	住友商事について	P.3
02	新中期経営計画「SHIFT 2023」について	P.7
03	取り組み事例① (J:COMとの協業によるスマート医療事業)	P.15
04	取り組み事例② (カーボンニュートラルに向けた水素事業)	P.21
05	業績・配当予想について	P.27
06	最後に	P.31

1. 住友商事について

住友商事の沿革

時代の変遷を見定め、**浮利を追わず、**
「進取の精神」を実践しながら、常に**自らを変革**してきた**100年**



会社紹介映像

【住友商事】会社紹介映像 – YouTube

住友商事グループにおける消費者関連ビジネス



映画事業



ビル事業
(KANDA SQUARE)



商業施設事業
(グランエミオ所沢)



携帯電話販売事業
(T-GAIA)



ドラッグストア事業
(Tomod's)



テレビ通販事業
(SHOP CHANNEL)



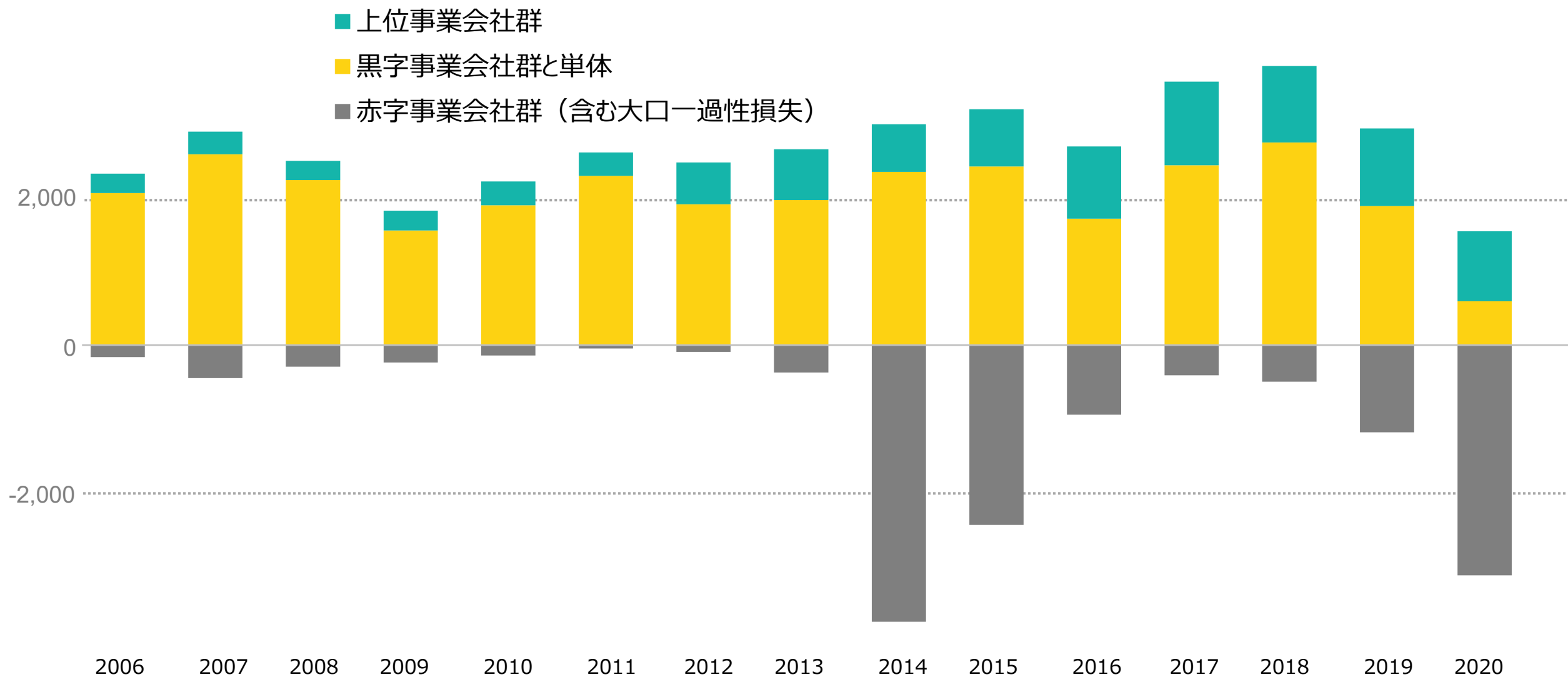
ケーブルテレビ事業
(J:COM)



食品スーパー事業
(サミット)

2. 新中期経営計画「SHIFT 2023」 について

業績推移



過去の振り返りと課題認識

強み

長年にわたり、バリューアップを実現してきた事業群

課題

事業ポートフォリオの収益力と下方耐性の強化



- 「資産入替」の加速
- 「新規投資案件」の着実な収益化
- 「新たなコア事業」の育成

とるべき方向性



個別事業の徹底強化／事業の実力に応じた経営資源の配分

新中期経営計画「SHIFT 2023」の全体像

事業ポートフォリオのシフト
（高い収益性と下方耐性の強いポートフォリオへ）

DXによるビジネス変革

サステナビリティ経営高度化

仕組みのシフト
（実効性の担保）

経営基盤のシフト

事業ポートフォリオの方向性・戦略

事業ポートフォリオのシフト

(高い収益性と下方耐性の強いポートフォリオへ)

【短期】

成長投資に向けた
資産入替の徹底
(バリュー実現)

【短中期】

強みを活かした
収益の柱の強化育成
(バリューアップ・
注力事業)

【中長期】

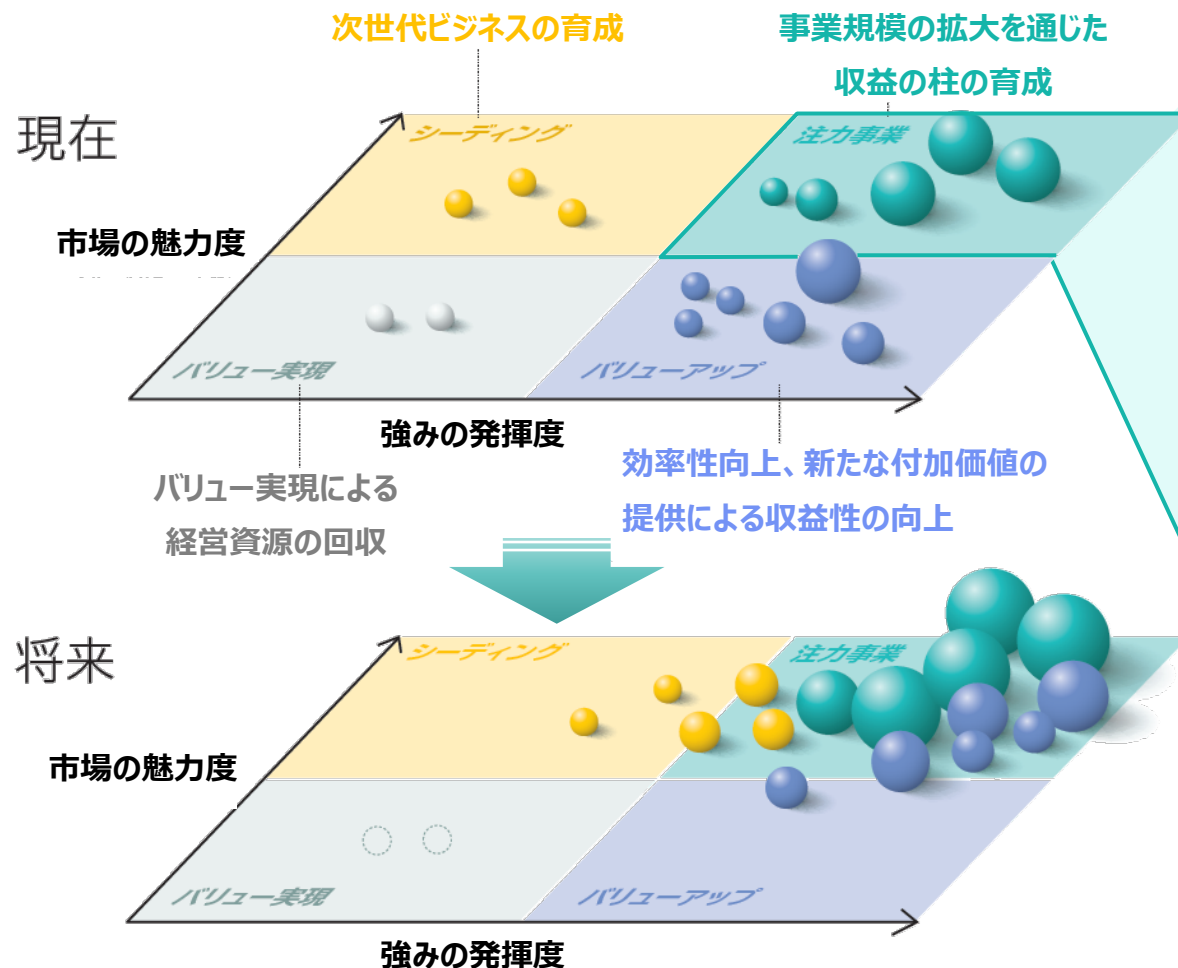
社会構造変化への
挑戦
(シーディング)

DXによるビジネス変革

サステナビリティ経営高度化

事業ポートフォリオのシフトのイメージ

市場の魅力度が高く、当社の強みが十分に発揮できる事業分野にポートフォリオをシフトし、収益性を高め、下方耐性を強化する



注力事業例

油井管・ラインパイプ



建機 レンタル



再生可能エネルギーIPP



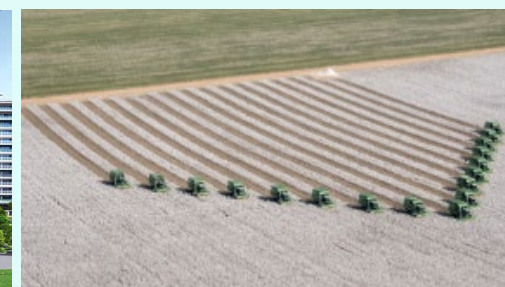
DX（デジタルトランスフォーメーション）



国内不動産



農業資材



事業ポートフォリオのシフト進捗状況（2021年度上期実績）

	バリュー実現	バリューアップ	注力事業	シーディング
主な案件の進捗 ・検討状況	● 豪州一般炭炭 鉱権益売却契約 締結	● 鋼管事業 構造 改革実行 ● TBC・Fyffes改善 ● マダガスカルニッケル 事業操業再開	● エチオピア通信事業 投資実行 ● マネージドケア事業 拡大（ベトナム進出）	● 5G基地局シェアリングサービス事業 参入 ● 次世代エネルギー 事業創出に向けた 取り組み
資産入替による 資金回収	0億円 (1,000億円)	500億円 (1,800億円)	400億円 (1,700億円)	—
投融資 (更新投資含む)	—	300億円 (3,300億円)	1,300億円 (7,600億円)	0億円 (500億円)

*（）内はSHIFT 2023計画

次世代成長戦略テーマについて

デジタル・トランスフォーメーション（DX）

次世代
エネルギー

社会
インフラ

リテイル・
コンシューマー

ヘルスケア

農業

カーボンニュートラルに向けた
水素事業



サステナビリティ経営の高度化

J:COMとの協業による
スマート医療事業



3. 取り組み事例①

（J:COMとの協業によるスマート医療事業）

JCOM会社概要

会社名	JCOM株式会社
設立年月	1995年1月
株主構成	住友商事50% KDDI 50%
事業内容	・ケーブルテレビ・プラットフォーム事業 国内最大手のケーブルテレビ局統括運営会社 ・メディア・エンターテインメント事業 国内最大級の番組供給事業統括運営会社
売上	7,857億円(2021年3月期)

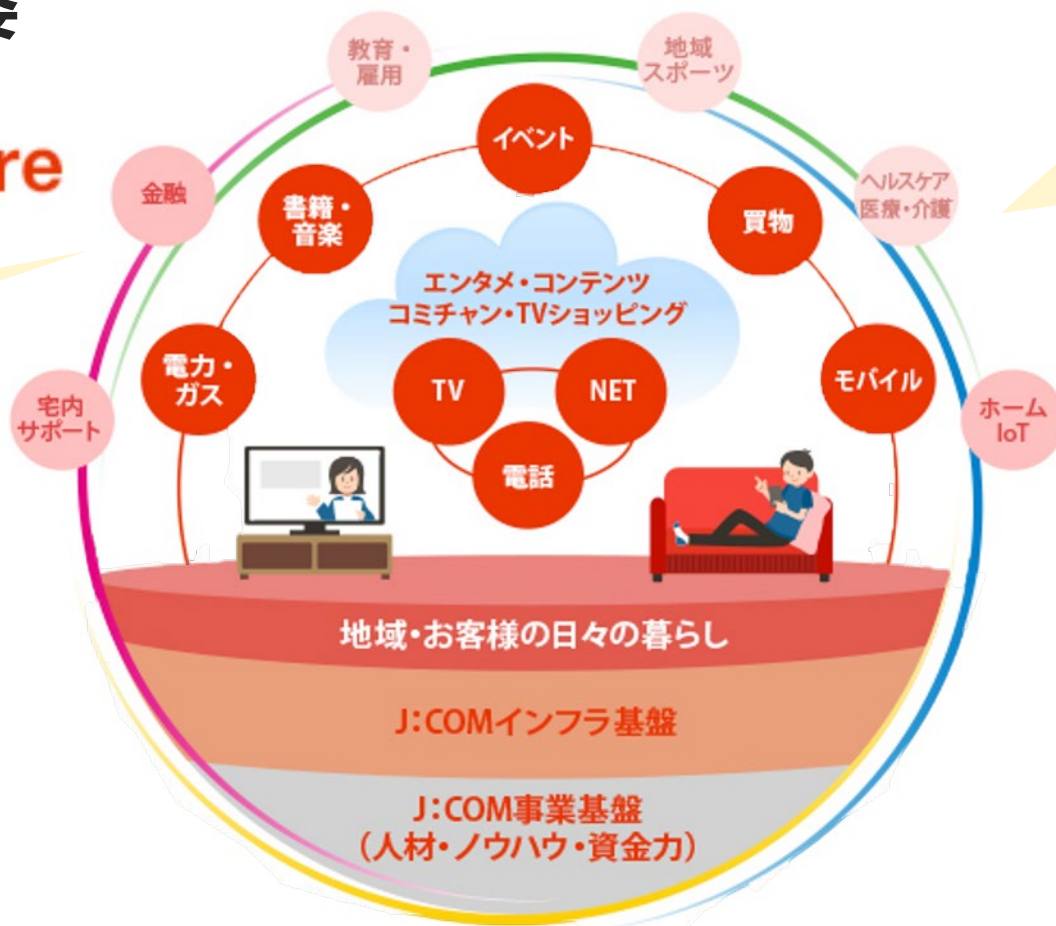
<J:COMのお客様>



J:COMの目指す姿

J:COM Everywhere

少額短期保険



オンライン診療



ホームIoT



外部 環境

ネット映像配信
サービスの普及

ネット高速化の
更なる進展

新たな生活
様式への対応

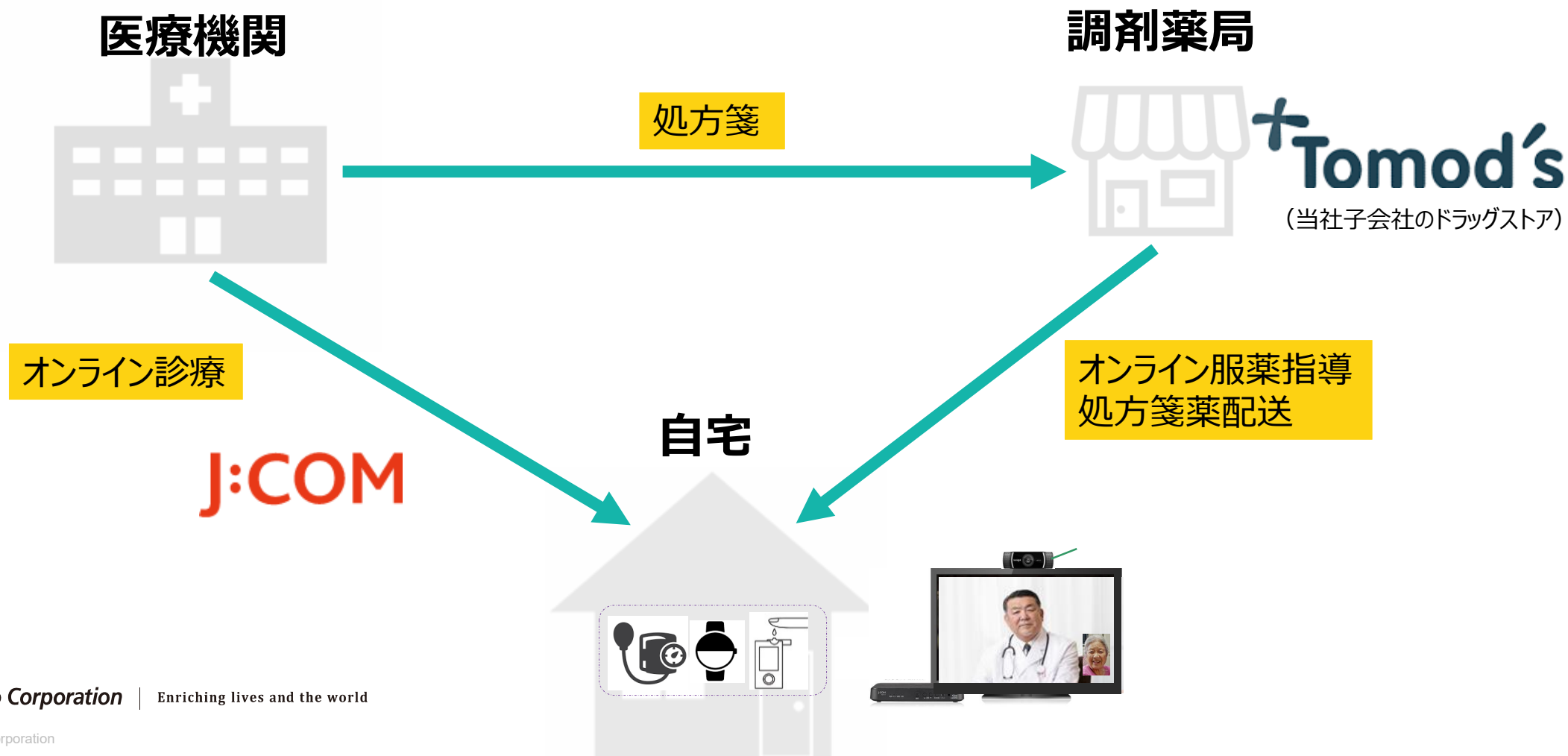
規制緩和
技術革新

オンライン診療サービス概要の映像

[J:COM オンライン診療「テレビと話す」篇 - YouTube](#)

当社グループにおけるスマート医療への取り組み

当社グループの総合力の発揮し、Tomod'sとのオンライン服薬指導・処方箋配送の検討等、多面的にスマート医療に取り組む。



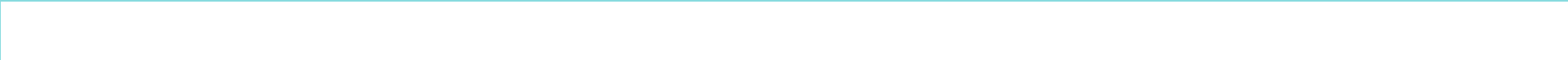
当社グループにおけるスマート医療への取り組み(続き)

2021年5月に地域スマート医療コンソーシアムを設立、現在22法人が参画。
医療機関・保険調剤薬局・ケーブルテレビ事業者等を巻き込み、スマート医療の普及促進を図る。

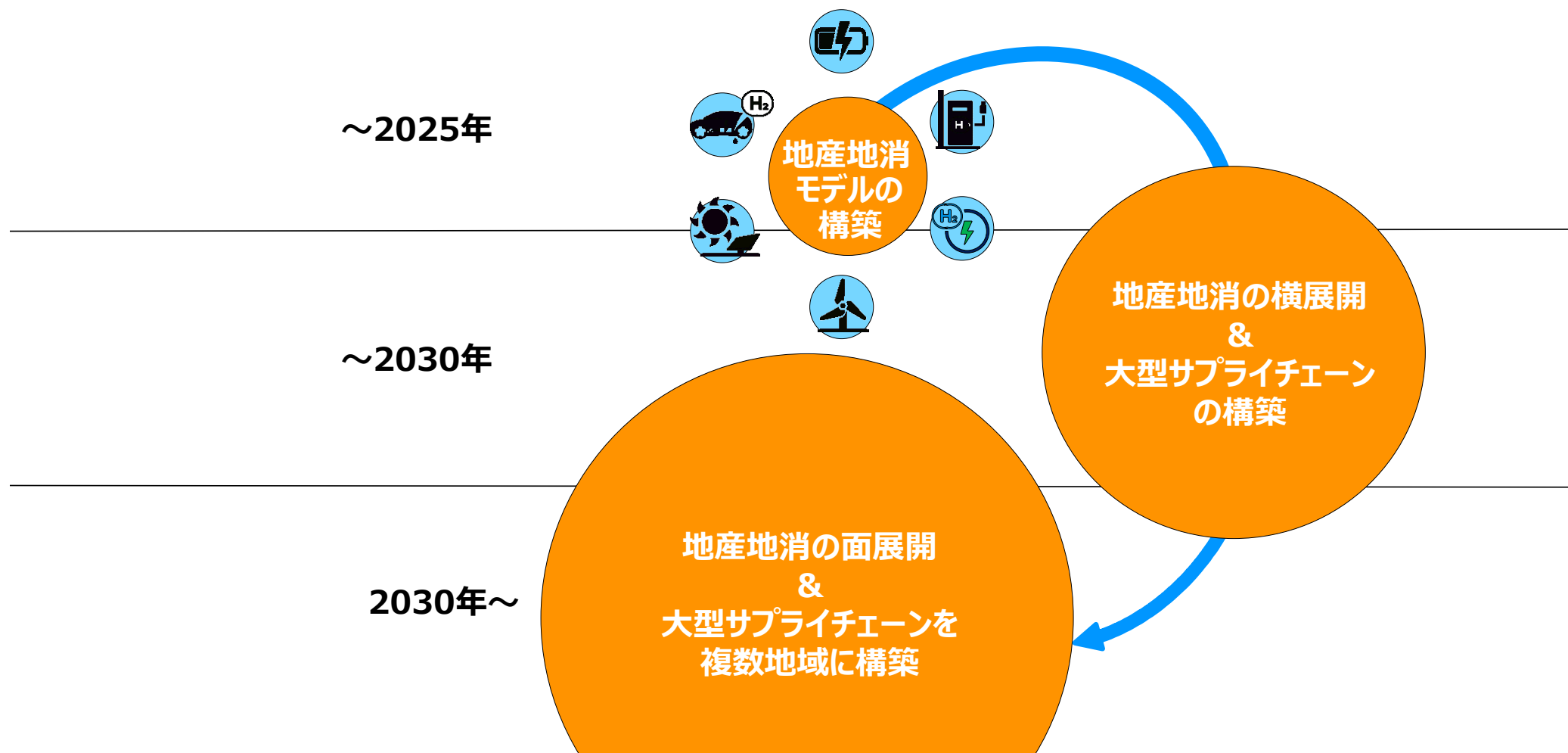


4.取り組み事例②

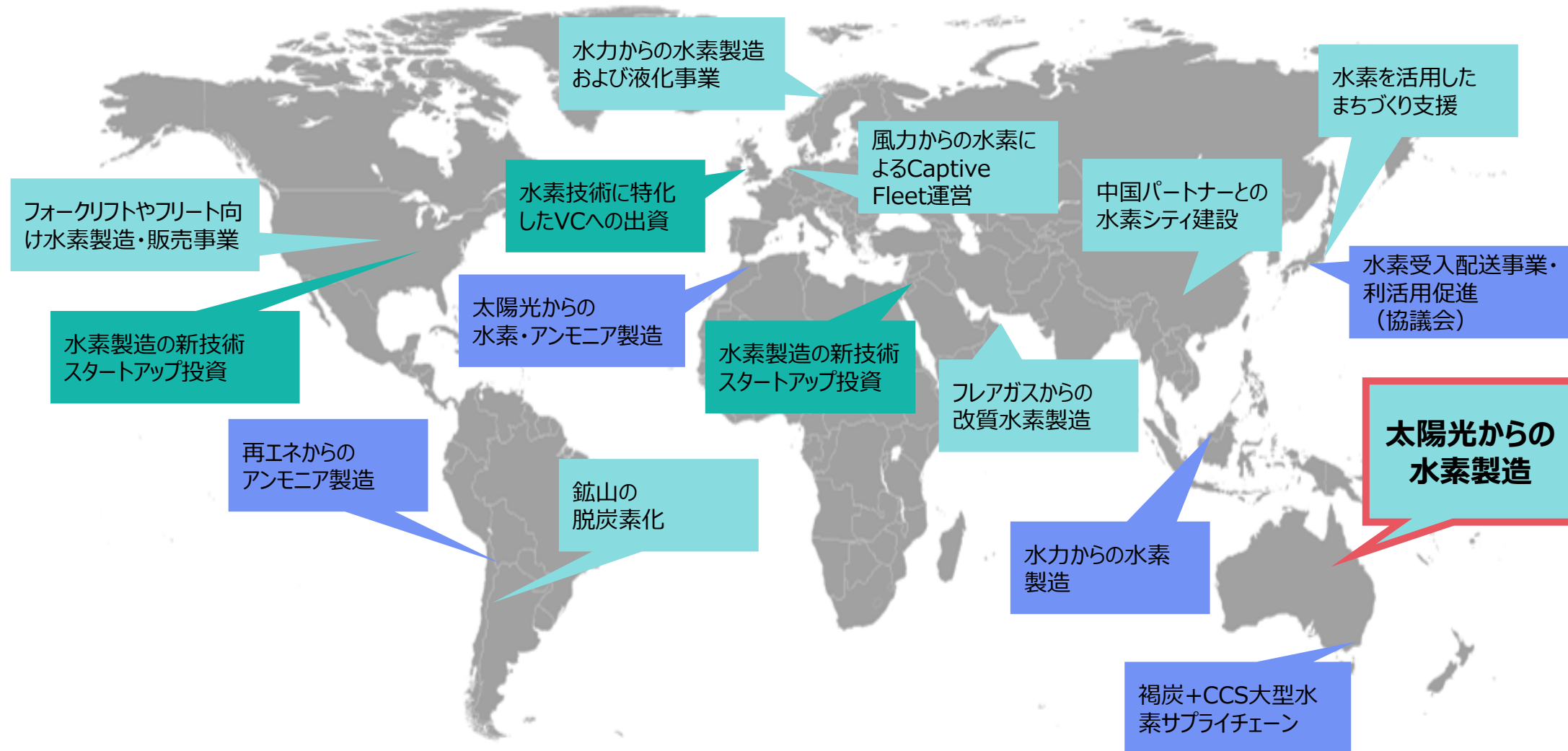
（カーボンニュートラルに向けた水素事業）



住友商事における水素取り組み方針



住友商事が取り組む主な水素関連プロジェクト



水素事業の取り組み事例 – 豪州における太陽光発電から水素製造・地産地消プロジェクト

□ プロジェクトの概要

- 豪州グラッドストーン市にて同市と協働し水素コミュニティ構築を目指す
- 安価な太陽光発電から水素を製造、都市ガス・モビリティ用途など幅広い水素利活用を検討
- グリーン水素(*)利用により脱炭素化に貢献
 - *水素製造工程に再生可能エネルギーを利用し、CO2を排出せずに作られた水素
- 古くからの産業都市で、既存インフラの活用も視野
- 2022年度初め第1段階の最終投資決定予定

□ グラッドストーン市の概要

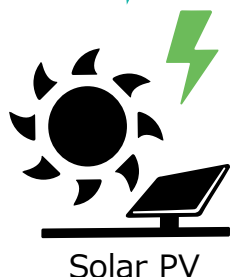


- 豪州クイーンズランド州
- 面積250km²（東京23区の約40%）
- 人口約7万人
- 年間平均314日が晴天日

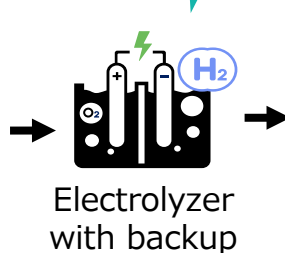
水素事業の取り組み事例 – 豪州における太陽光発電から水素製造・地産地消プロジェクト（続き）

域内の水素コミュニティ構築への
取り組みを通じて、脱炭素化に貢献

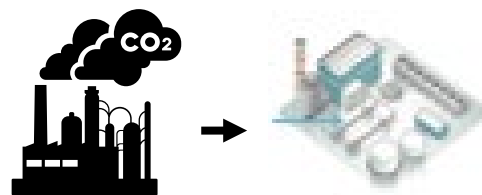
太陽光発電



水の電気分解



第1段階（2022～23年）



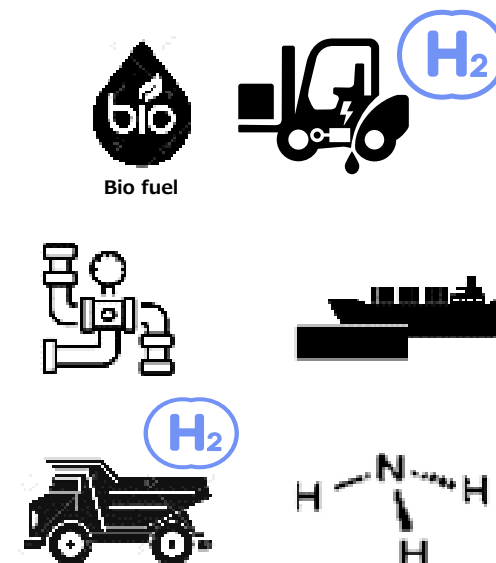
グラッドストーン市の
既存産業向け供給
（天然ガス→水素）

第2段階（2023～24年）



地域の利活用拡大
（都市ガスへの混入、
バス・トラック向け燃料等）

第3段階（2025年～）



地域の脱炭素化に貢献

水素の利活用

（ご参考）カーボンニュートラル社会の実現に資する取り組み

新たな営業組織「エネルギーイノベーション・イニシアチブ」（EII）を設立し、
カーボンニュートラル社会の実現に資する次世代事業創出を目指す

グリーン水素製造・販売事業



水素事業部

太陽光由来の電力を主電源とした水素の製造・販売。地産地消型の水素コミュニティの構築を目指す。（豪州）

木質ペレット事業



バイオマス原燃料部

国内最大の木質ペレットインポーター。長年にわたり日本のバイオマス業界をリード、バイオマス発電を普及させていく。（日本）

次世代バイオ事業



次世代バイオプロジェクト

戦略パートナーと連携した、農業残渣を活用した次世代バイオエネルギーの開発を目指す。（ブラジル）

福島浪江町プロジェクト



水素事業部

福島県浪江町と連携協定を締結。水素など分散型クリーンエネルギーを活用したまちづくりを浪江町からスタート「Fukushimaモデル」として日本・世界に発信。（日本）

分散型電源プラットフォーム事業



Team Power Frontier

分散型太陽光電源を軸としたクリーン電力プラットフォームビジネスに取り組む。（日本・アジア・アフリカ）

大型蓄電事業



ゼロエミッション・

ソリューション事業部

再エネ大量導入で生じる電力ネットワークの課題を見据え、蓄電池を社会実装させるための「大型蓄電事業」基盤の構築を目指す。（日本）

小樽市熱利用事業



地下エネルギーチーム

小樽市において、世界最先端、日本初の第5世代地域熱供給（5G）網を構築し、熱供給・販売事業の広域な実現を目指す。（日本）

changing lives and the world

森林事業



木材資源事業部

商社No.1の森林資源を保有（NZ、ロシア）

更なる規模拡大、資産価値向上を目指す。

排出権関連事業

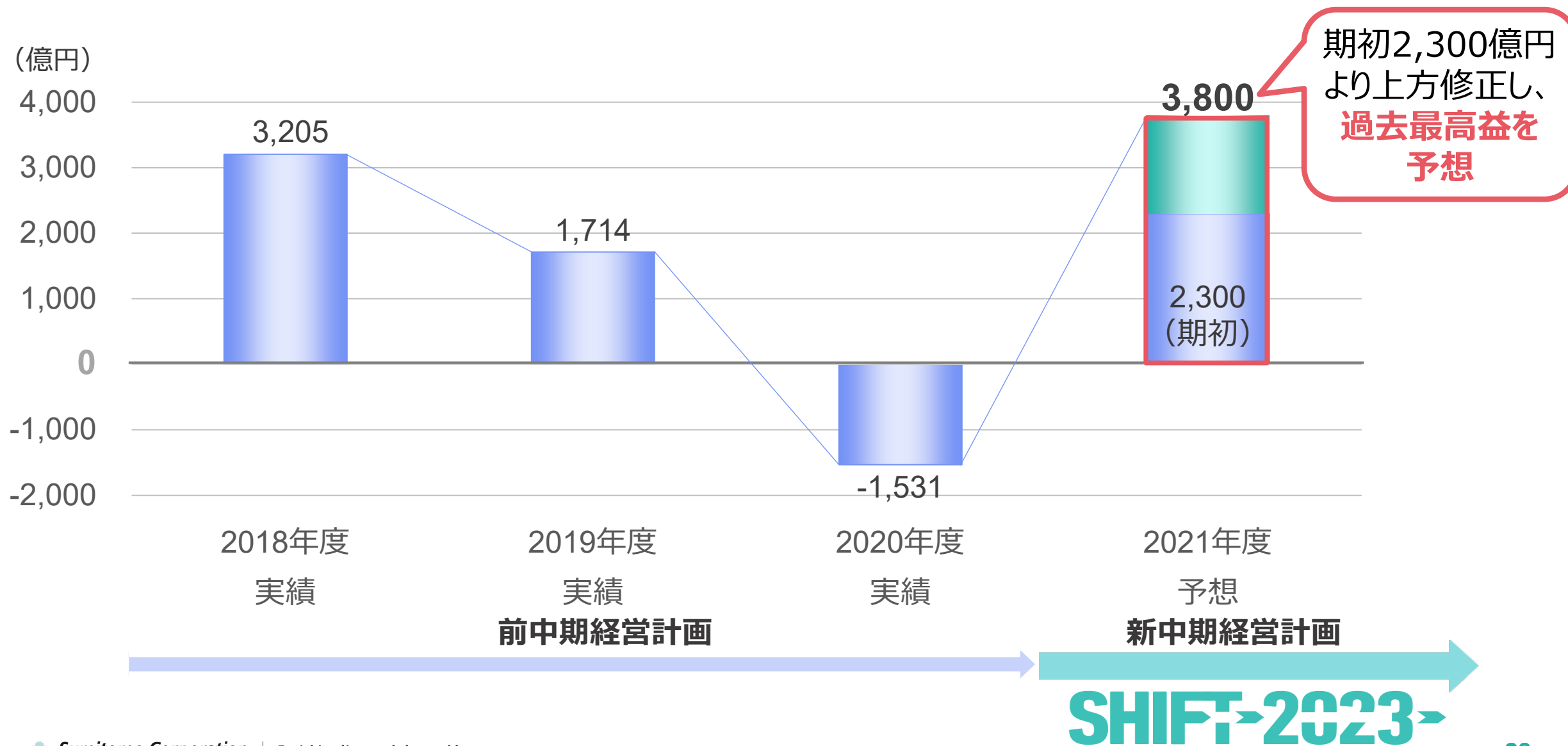


木材資源事業部 他

自社保有林やREDD+事業からの排出権創出等の新たな環境価値創造事業に取り組む。

5. 業績・配当予想について

業績予想

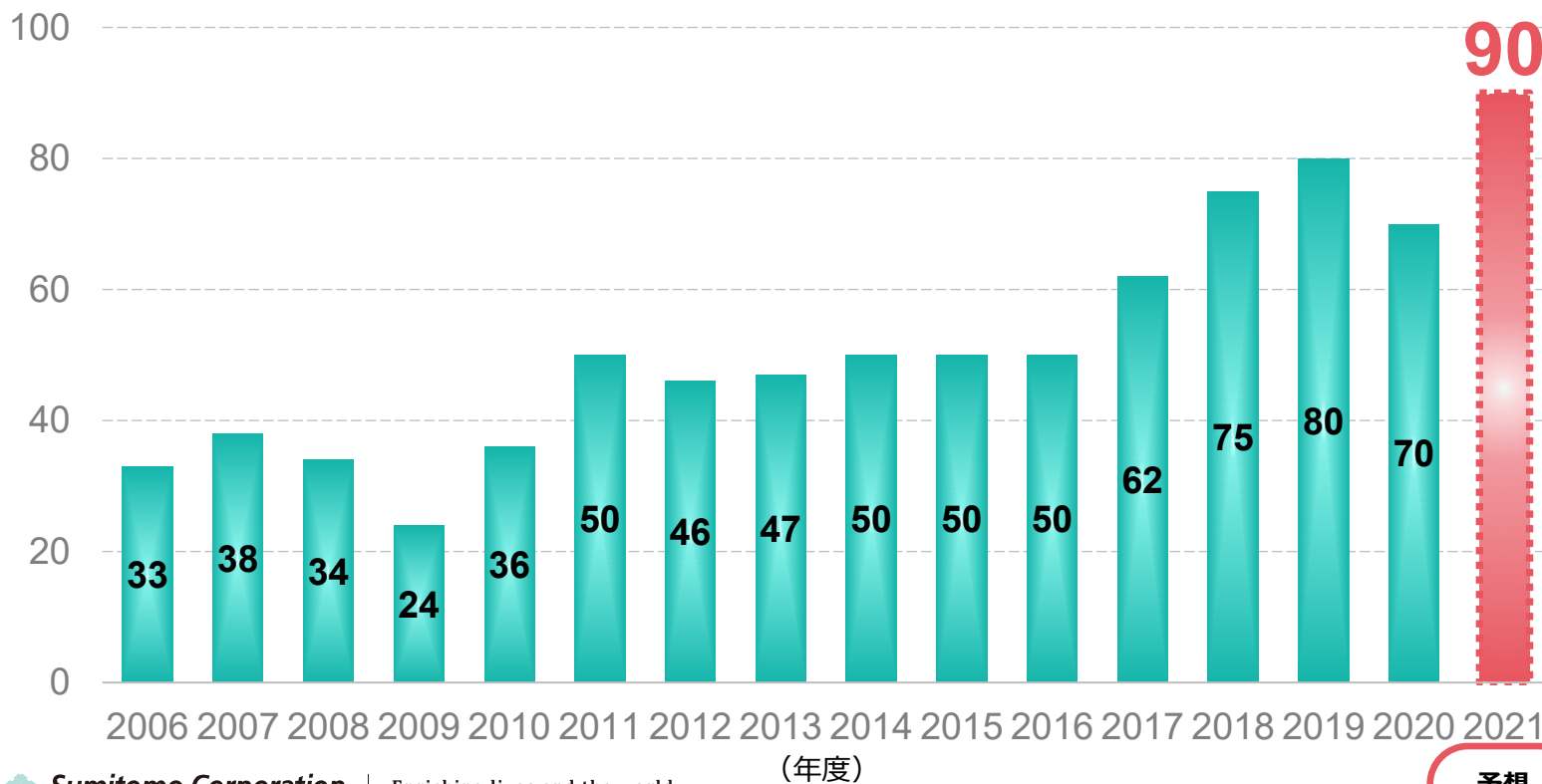


配当予想

SHIFT 2023 配当方針

長期安定配当という基本方針を踏まえ、2020年度の年間配当金と同額の1株当たり70円以上を維持した上で、連結配当性向30%程度を目安に、基礎的な収益力やキャッシュ・フローの状況等を勘案の上、決定する。

(1株あたり円)



3,800億円の業績予想、
連結配当性向30%

一株当たりの年間配当額を
期初70円から
90円に上方修正
(過去最高)

質疑応答

6. 最後に

当社IR情報

当社HPにおいて、IR情報を掲載しております



個人株主・投資家の皆様へ

[個人株主・投資家の皆様へ | 住友商事 \(sumitomocorp.com\)](https://sumitomocorp.com)

2021年度2Q決算情報

[決算情報 | 住友商事 \(sumitomocorp.com\)](https://sumitomocorp.com)

統合報告書

[2021年度：統合報告書／アニュアルレポート | 住友商事 \(sumitomocorp.com\)](https://sumitomocorp.com)

ESGコミュニケーションブック

[レポート | 住友商事 \(sumitomocorp.com\)](https://sumitomocorp.com)

Investor Day

[Investor Day | 住友商事 \(sumitomocorp.com\)](https://sumitomocorp.com)



Enriching lives and the world